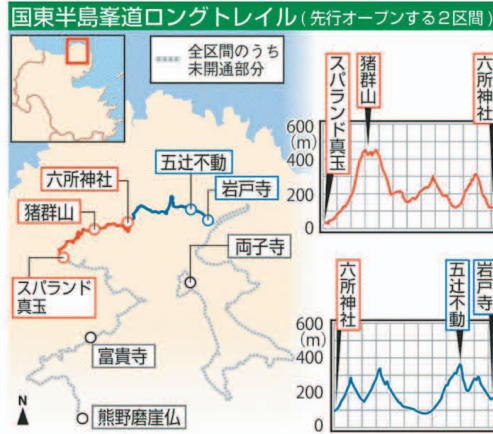


年	組	名前
---	---	----

新たな屋外レジャーとして人気を高めるロングトレイルの九州初コース「国東半島峯道ロングトレイル」が30日、いよいよオープンします。



新たな屋外レジャーとして人気を高めるロングトレイルの九州初コース「国東半島峯道ロングトレイル」が30日、いよいよオープンする。国東半島山間部の尾根と谷の連続を歩く全10区間（総延長13.5km）のうち、2区間を先行して開通。古くから伝わる天台宗の修験行事「峯入り」の道を行くのが売りで、半島観光の新たな目玉として期待されている。

国東半島峯道ロングトレイル



六所神社から岩戸寺へ向かうルート。五輪塔群の横を行く＝国東市国見町内

30日に2区間開通

修験行事を体感

コース全体は豊後高田市の熊野磨崖仏（国史跡）から、国東市の西子寺まで。「峯道」を土台に登山道や林道、里山の生活道をつなぐ。最大の特徴は六郷満山の仏教文化を体感できる点。国宝の富貴寺、豊後高田市など約20の寺院の他、五輪塔や磨崖仏、岩屋などが点在している。今回、開通するのはスハラランド真玉（豊後高田市）、六所神社（同）の13区、同神社（岩戸寺）（国東市）の12区。いずれも峠越えを繰り返す。約7時間かかる。国東半島でロングトレイルの構想が動いたのは2012年5月。国東、豊後、高田両市の有志が「国東半島

ロングトレイル 自然と触れ合いながら100km程度の長距離コースを数日かけて歩き、登山や普段の山歩きにはない感動を味わう「歩く旅」として改めて人気だが、日本では2011年に日本ロングトレイル協議会が設立し整備が始まったばかり。同協議会は35年のうちに全国で3500万人以上が楽しむと予測している。国東半島コースは全10区目。

(2013年11月16日朝刊1面)

①ロングトレイルとは何ですか？

.....

.....

.....

.....

②先行オープンの2区間とも7時間かかるとして、それぞれ1時間当たり何キロ進みますか。自分たちの通学スピードと比べてみよう。

.....

.....

.....

.....

③このコースの売りである「峯入り」とは何ですか？調べてみよう。

.....

.....

.....

.....